

# ☆☆図書室だより☆☆ ☆第44号☆

## ☆☆- 図書委員会よりお知らせ -☆☆



天に栄光、地に平和を… イエス様のお誕生を待ち望む待降節、おすすめしたい本と併せて新しく買った本の紹介をさせていただきます。

☆☆☆☆

## ご紹介

阿佐ヶ谷教会 伝道師 李 暁静

### 「クリスマス・ブック」

[茶 197.6 Ku]

マルティン・ルター 著 R.ベイントン 編 中村妙子 訳 新教出版社

『クリスマス・ブック』の中に納められた7つの説教は、マルティン・ルターが30年以上の間になされたクリスマス説教から抜粋したものであります。ルターは繰り返し、クリスマスはあくまでも神様からの贈り物であって、私たちのなしうるすべては、ただ心からこれを喜んで受けるだけであることを説き、クリスマスの訪れについて、素朴なうちにも溢れこぼれるほどの感慨を込めて語っています。

ルターは聖書に出てくるクリスマスの登場人物がこの事実を一人残らず信じえたということに驚嘆し、自分が彼らの立場にあったとしたら、とても信じられなかつただろうと言って、処女降誕物語において、マリアやヨセフや羊飼いや博士たちの心のうちに起こった「そんなことがあろうはずはない」という気持ちを生き生きと描きだしています。

信仰は決して容易ではありません。また不可能ではないのです。『クリスマス・ブック』は私たちを助けるでしょう。

《購入書》	書名	著者名・出版社・発行年など
これからの医療とキリスト教福祉	カイロス ブックス 工藤信夫 向谷地生良 著	いのちのことば社 2023.4.1 [茶 197.6 Ku]
わが心のクリスマス	パール・バック 著 磯村愛子 訳	女子パウロ会 1999.10.30 [黒 933.7 Bu]
聖書の祈り 主よ、祈りを教えてください	大島力 川崎公平 著	日本キリスト教団出版局 2023.8.25 [橙 193.0]
証し 日本のキリスト教	最相葉月 著	角川書店 2022.12.31 [赤 192.1 Sa]
宗教の行方 現代のための宗教十二講	八木誠一 著	法蔵館 2022.9.1 [黒 161.1 Ya]
傷ついた癒やし人 新版	ヘンリ・チウエン 著 渡辺順子 訳 酒井陽介 解説	日本キリスト教団出版局 2022.12.20 [茶 197 No]
BC級戦犯にされたキリスト者 中田善秋と宣撫工作	小塩海平 著	いのちのことば社 2022.8.15 [茶 198.321 Ko]
VTJ旧約聖書注解	大島力 著	日本キリスト教団出版局 2023.4.25 [黄 193.41 Oh] 禁帯出
氷点 上	三浦綾子 著	KADOKAWA 角川文庫 2022/11/20 [黒 913.64 Mi]
〃 下	〃	〃 2022/10/15 [黒 913.64 Mi]
《再登録書》		
光あるうちに 信仰入門編 道ありき第3部	三浦綾子 著	主婦の友社 1972/1/20 [黒 289 Mi]
《寄贈書》		
おやこの広場通信 はらっば	2005/5~2019/3 ~阿佐ヶ谷教会 おやこの広場15年の歩み~	阿佐ヶ谷教会おやこの広場 2023.8.18 [茶 197.7 A]
〃	〃	〃 〃 [ 〃 ] 禁帯出

# 「わが心のクリスマス」

パール・バック 著 磯村愛子 訳 女子パウロ会



〔黒 933.7 Bu〕

「大地」などの著作で名高いノーベル賞作家が、亡くなる前年（1972年）にまとめた8つのクリスマス物語。パール・バックは生後4ヵ月で宣教師の両親に連れられて中国に渡り、ほぼ半生を暮らした。米国に帰国後家族は、一人娘に養子6人の大所帯になり、子供や孫たちにクリスマスごとに聞かせたお話がもとになっている。英国植民地風の石造りの家に住み着いてイヴの夜に現れる幽霊の伝説、慎ましい子沢山の家族が話し合いの末見出した自分にできる贈り物とは、ベトナムの戦場に医師の夫を送った身重の妻が不安のうちに迎える新しい命、12歳の時中国で飢えた母子を救えなかった苦い思い出からアジア人と米国人から生まれた混血児を引き取り育てる話…イエス様がこの世に生まれご自身を弱い者に捧げたその愛を呼び起こし、人々の間に生かし続けてこそクリスマスは全うされるというメッセージが鮮やかに伝わってくる。

（T.K. ときわ木会）



# 「これからの医療とキリスト教福祉」

工藤信夫 向谷地生良 著 いのちのことば社 〔茶 197.6〕

「人が尊厳をもって生きるために必要なもの。」を心にとめながら読んでみた。対談は、医療と福祉の問題点を解りやすく説明しながら、現状を語りはじめている。医療・保健・福祉と力関係のある現場で、医療と福祉が両輪で動く精神科分野の働きがなされるのは、キリスト教福祉の賜物なのだろう。周りから「面白い発想」と思われる働きがキリスト教福祉なら、「赤ちゃんポスト」の発想も納得がいく。ただ広まらない。私は、こども福祉をはじめる時、人としての罪と無力さから、「神様からお預かりしている子どもの命は、神様の愛なしに守れない」との思いで、キリスト者となったので、福祉の仕事は、神様から遣わされているとしか考えたことがなかった。対談の中で、「待つ医療ではなく、出ていく医療でない」との事が、聖書でいう「困いの外にいる羊」というところに思いをはせた。

福祉に深く関わっている人も、よく知らない人も、一読の価値あります。（K.I シオン会）



# 「おやこの広場通信 はらっぱ 2005/5~2019/3」

～阿佐ヶ谷教会おやこの広場15年の歩み～ 阿佐ヶ谷教会おやこの広場 〔茶 197.6 Ku〕

創立80周年記念事業一貫として阿佐ヶ谷教会が始めた「おやこの広場」は、54年続いた教会附属幼児施設「つばみ会」の次のステージとして、2004年6月から2019年3月まで地域への子育て支援事業として15年間活動しました。開始2年目から、夏休みの8月を除く毎月、おやこの広場の会員に向けておやこの広場通信「はらっぱ」を発行し、その数は152号を重ねました。本誌はその全てをそのまま合本したものです。

活動の中で、生き生きと過ごしている子どもの様子、見守る大人たちの暖かい眼差しや微笑ましい関わり、子育てのワンポイントアドバイスなどをスタッフ達の目と手と経験でまとめ、おやこの広場の歩みを記した年表、配布したパンフレット等のサンプルも収録しました。おやこの広場をご存知の方はその活動を懐かしんでいただき、ご存知ない方は過去にこのような集まりがあったことを知っていただければ嬉しいです。

（M.M 若草会）

「図書室だより」のバックナンバーはこちらへ →

<http://www.asagaya-church.com/tosho.shtml>

